



1週間パスタと塩コショウで暮らす

子どもの貧困対策充実を 市対連講演会

大阪市対連連絡会(市対連)は8月23日、24年度総会&講演会を開き、寺内順子大阪社会保険推進協議会(社保協)事務局長・シンママ大阪応援団代表が講演「大阪市の子ども貧困と親と子どもたちの生活を安定させるためには〜」を行いました。

大阪市は「子どもの生活に関する実態調査」を16年度に続いて23年度において、

<生活実態調査結果・市会陳情署名用紙から>

- 5歳児のいる母子世帯「貧困」60%超
- 食費を切りつめた31.5%
- 休日に昼食を食べない理由「用意されていない」5.8%
- 高校進学の見送り率を余儀なくされているケースもある
- 生活保護受給率1.8% (2016年調査 3.4%)
- 就学援助受給率14.9% (2016年調査 20.0%)
- 教育費および「隠れ教育費」の軽減必要
- 大阪市の豊かな財源で 子どもの貧困対策を

いまた(内容の一部は別項)。大阪市の平均所得は横浜市よりも高くトップクラス。等価可処分所得中央値は265万円。その50%以下が貧困層で15%。格差が広がりが行政区により違いが大きい。

中学生になると食費・教育費が増大し保護者がきつい。住宅では民間の賃貸住宅が多く、家賃を払えは削ることができないのは食費です。

全国教研

希望を語ろう

組合員がレポート報告

「みんなで21世紀の未来をひらく教育のついで」2024 in 大阪」が8月16日〜18日に行われ、約4300人が参加(含オンライン)しました。

研究会実行委員の宮下直樹さんは「子どもの貧困、いじめ、虐待、不登校がそれぞれ過去最多、教職員の長時間労働で『学校から子どもも大人も逃げ出している』なかだからこそ、子どもとともに希望を語ろう」、「子どもの事実から出発し、対話と共同をすすめる学校をつくろう」と呼びかけました。

毎日放送ディレクター・斎加尚代さんが「なぜ教育とメディアは狙われているのか?歴史改ざんと

シンママ SOS
赤ちゃんが生まれたばかりなのに夫が失踪。半年間、貯金を切り崩し、洋服をメルカリで売りながら暮らし、遂に力尽きかけ、必死で検索してシンママ大阪応援団にメールをくれました。月末は「1週間パスタと塩コ



開会全体集会(中央公会堂)で全国教育のついでに、大阪」が8月16日〜18日に行われ、約4300人が参加(含オンライン)しました。

研究会実行委員の宮下直樹さんは「子どもの貧困、いじめ、虐待、不登校がそれぞれ過去最多、教職員の長時間労働で『学校から子どもも大人も逃げ出している』なかだからこそ、子どもとともに希望を語ろう」、「子どもの事実から出発し、対話と共同をすすめる学校をつくろう」と呼びかけました。

全国臨時教職員問題学習交流会 in 岡山が8月10日、11日「語ろう・つながろう・立ち上がろう」誰もが大切にされる学校・社会をめざして〜」をテーマに開催されました。1日目は開会全体集会と

大交流会。2日目は4つの分科会に分かれて学習と交流をしました。

で印象に残っているのは、「非常勤という職はない」というものです。「非常勤」とは、本職を持った上で「1時間」と「能力」を売っている方たちのことを指す、いわば「特別職」であると聞き、ほんと

にその通りだと思っていました。年度始め、年度途中関わらず、プロフェッショナルとして現場へ行き、現場からは頼られる存在として活躍する非常勤の先生たちは、非常に安上がりの賃金で働かされています。決して「授業だけしていいばい」わけではありませぬ。学びを力に今後がんばります。

「マルかじりゼミナール(第13期) in 津市」が、8月3日〜4日行われ12人が参加しました。初日は「青年期の貧困化」失われた30年「自由に処分できる時間をわたしたち」を学習。子どもへの権利条約31条① 休息・余暇権、②遊びレクリエーション権、③文化的生活・芸術への参加などの「子どもの文化権」、「自由に処分できる時間」こそ「真の富」について学びました。「3年生理科」チ

「まさか!私が学級担任なんて!」第1学年国語科学習」など青年の実践報告が行われました。猛暑のため室内でバーベキューを行いおいしいお肉と野菜&ドリンク。夜遅くまで交流が続きました。

夏期休業期間中に、各支部が分会訪問を行いました。自動車や自転車を複数で訪問の体制を整えた支部、日頃会えない人への訪問を計画したり、猛暑の中、せめて近隣の分会にと徒歩で回った支部もありました。

大阪・関西万博協会幹部が開催期間中のカジノ(IRR)建設工事の中断を府・市に要請していることが明らかになりました。景観、有害物質を含む土埃による入場者の健康問題、工事車両による渋滞等がすでに指摘されていますが、問題が明らかになりました。訪問しても組合員さんが不在であった

「京都でも万博に子どもが遠足...大丈夫



現場で頼られる臨教 「特別職」の待遇を

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

自由な時間を マルかじりゼミ in 津

「マルかじりゼミナール(第13期) in 津市」が、8月3日〜4日行われ12人が参加しました。初日は「青年期の貧困化」失われた30年「自由に処分できる時間をわたしたち」を学習。子どもへの権利条約31条① 休息・余暇権、②遊びレクリエーション権、③文化的生活・芸術への参加などの「子どもの文化権」、「自由に処分できる時間」こそ「真の富」について学びました。「3年生理科」チ

「まさか!私が学級担任なんて!」第1学年国語科学習」など青年の実践報告が行われました。猛暑のため室内でバーベキューを行いおいしいお肉と野菜&ドリンク。夜遅くまで交流が続きました。

夏期休業期間中に、各支部が分会訪問を行いました。自動車や自転車を複数で訪問の体制を整えた支部、日頃会えない人への訪問を計画したり、猛暑の中、せめて近隣の分会にと徒歩で回った支部もありました。

大阪・関西万博協会幹部が開催期間中のカジノ(IRR)建設工事の中断を府・市に要請していることが明らかになりました。景観、有害物質を含む土埃による入場者の健康問題、工事車両による渋滞等がすでに指摘されていますが、問題が明らかになりました。訪問しても組合員さんが不在であった

夏の分会訪問 職場の話じっくり

夏期休業期間中に、各支部が分会訪問を行いました。自動車や自転車を複数で訪問の体制を整えた支部、日頃会えない人への訪問を計画したり、猛暑の中、せめて近隣の分会にと徒歩で回った支部もありました。

大阪・関西万博協会幹部が開催期間中のカジノ(IRR)建設工事の中断を府・市に要請していることが明らかになりました。景観、有害物質を含む土埃による入場者の健康問題、工事車両による渋滞等がすでに指摘されていますが、問題が明らかになりました。訪問しても組合員さんが不在であった

「まさか!私が学級担任なんて!」第1学年国語科学習」など青年の実践報告が行われました。猛暑のため室内でバーベキューを行いおいしいお肉と野菜&ドリンク。夜遅くまで交流が続きました。

たんぽぽ だより 9月

今年度、学校で一番大変ではないかと思われ3年生を担任しています。2クラスですが、主任の先生と毎日のように「大変だな」と言いながら、1学期を終えましたが、学年目標「できる」を合言葉に何が大変か。集

中して話は聞けない。授業規律がまなならない。メリハリがなかなか身につかない。語彙力が低い。など挙げれば切りがありませんが、そんな彼らも、学年目標「できる」を合言葉に徐々に力をつけていききました。学期末、何か楽しいことできないかなと、クイズを出すようになりました。朝は「今日は何の日?」帰りは「あるなしクイズ」を取り組んでみました。朝はタブレット端末で調べた答えを言いながら、帰りはみんなで答えを考え、楽しい雰囲気をつくっていました。2学期も引き続き彼らの興味関心に合わせて楽しいことをたくさんできたらと思います。